

例年よりもはやく梅雨入りした6月。コロナ禍でのステイホームとも重なり、家にいる期間が長くなると思います。そこで、図書館に来館して、本を読みましょ。今日の紹介文は「梅雨の時期に読みたい本」をテーマに選びました。普段本を読まない人も参考にさせていただけたらと思います。

また、図書館に出入りする際には、手洗い・うがい・アルコールの徹底をお願いします。

○ 新刊本の紹介

☒ あの星が降る丘で君とまた出会いたい ☒ 汐見夏衛 913/シオ

この本のタイトルの意味が分かたら感動してしまう、2人の純愛物語です。本をあまり読まない人でも虜(とりこ)になってしまうくらい素敵なこの1冊。ぜひ読んでみてください。 2-3 谷戸



☒ 雪があたたかいなんていままで知らなかつた ☒ 美城圭 913/ミ

昔から幽霊が見える千尋。ある事がきっかけで記憶喪失した幽霊少女。ソラの身元を調べていく青春ストーリーです。登場人物たちの成長をうれしく感じ、結末には、胸が苦しくなり、同時に題名の意味に気づかされます。 2-1 河野



☒ 満月の夜に君を見つける ☒ 冬野夜空 913/フエ



家族を失った「僕」は毎日絵を書いていた。そんなある日、美少女「水無瀬月」が目の前に現れた。月は呪いを持っていて。だんだん幸せにな。ていくにつれて。どんどん死に近づいていくというセツない話です。セツないラブストーリー。満月の夜に読むことをオススメします。 2-1 湯田

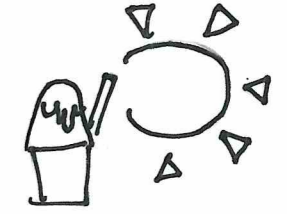
○ 本の紹介文

☒ 天国までの49日間 ☒ 櫻井千姫 913/サキ (シリーズ有り)

中学2年生14歳・折原安音は、クラスメイトからのイジメを苦に命を絶ります。目覚めると、彼世の前に天使が現れ告げます。「天国へ行くか、地獄に行くか49日間で決める。」「いのち」の意味。いじめはどうして起こるのか？いじめ・友情・中学生。3つのキーワードに巻き起こす命の物語です。 2-2 種元



☒ 夏の庭 The friends ☒ 湯本 香樹実 913/ユ



「人の死を真の当たりにしたことかありますか？」そう聞かれて、すぐ答えられず人はいないでしょう。「人が死ぬところを見たい。」という好奇心を持つ3人の少年が、1人暮らしの老人を観察しはじめるところから、物語はスタートします。普段は目をそらしがちな「死」というワード。これはマイナスな意味だけでなくありと改めて、「生」と「死」に向き合。てみると、なにが発見があるかもしれません。 2-1 羽田

☒ 空気を読んでも伝わらない ☒ 鴻上尚史 159/シワ

皆さんは「生き苦しい」と思ったことありますか？「息苦しい」ではなく、「生き苦しい」です。自分があります。周りを気にしながら自分の行動に気を使い、「変なやつ」とか「おかげよやつ」などと思われないうちに。でも子だけ「ふいつう」になろうとしていませんか？自分と自分です。この本は、いかに自分達が日頃からそういったものに縛られているかを解き明かしてくれ。「生き苦しさ」を解決する手助けをしてくれます。 2-2 猪飼



猪飼さんには図書委員でなければいけません。今回、紹介文を書いていたのできまげ。